

いけんひろば

教育にかかるお金の支援があることを知ってもらうには？

報告資料

令和6(2024)年12月10日(火)～12月22日(日) アンケート開催

令和6(2024)年12月13日(金) オンライン開催

令和6(2024)年度「こども若者★いけんぷらす」事業



●開催概要

●参加者の意見

- 1.教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法
- 2.チラシ（案）を良くするための方法

●オンライン回参加者アンケート

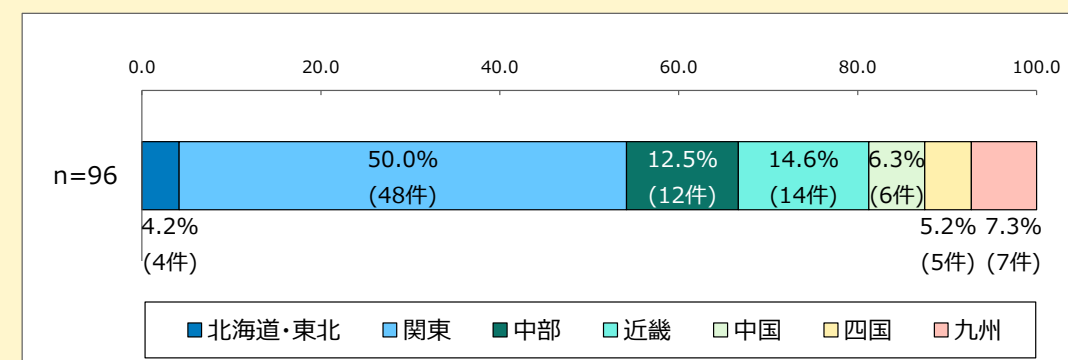
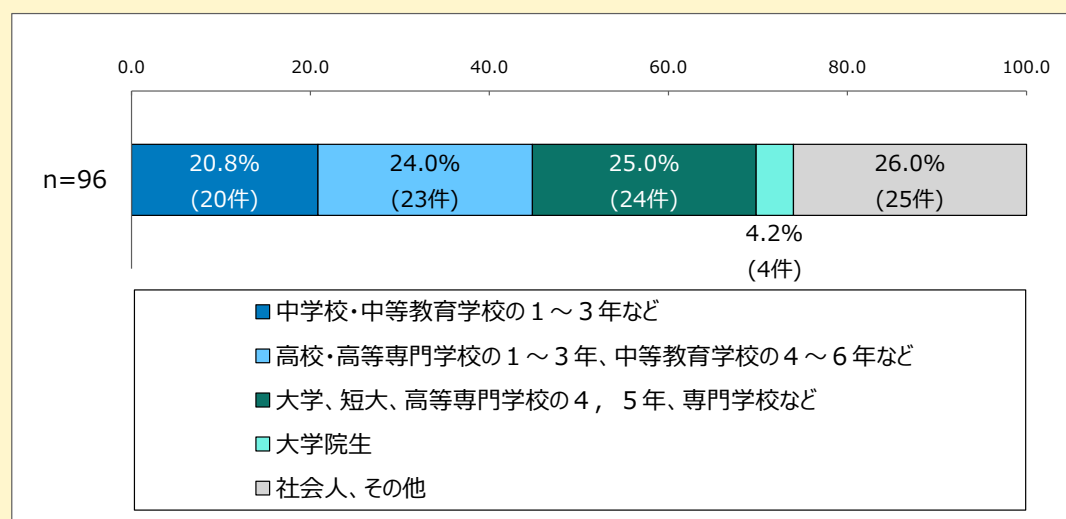


開催概要

テーマ	教育にかかるお金の支援があることを知ってもらうには？
担当省庁	文部科学省
テーマ説明	教育を受けるには、授業料や教材、体育着、修学旅行の費用などお金がかかります。皆さんが希望する教育を受けられるよう、このような教育にかかるお金の一部を国や都道府県が支援しています。これまでも、お金の支援があることを広報してきましたが、支援を受けられるはずの人が支援を受けていなかったり、将来、高校や大学に進学したときに支援を受けられることが中学生・高校生の皆さんや保護者の方に、十分に伝わっていなかったりすることが課題だと感じています。教育にかかるお金の支援についてどのように広報すれば、支援が必要な方に知ってもらい、支援を受けられるようになるか皆さんの意見を聞かせてください。
参加対象者	「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、中学生以上の方
開催日時・参加者数	【オンライン】 - 開催日時：令和6年12月13日（金）18:00～20:00 - 参加者数：18人（1班…中学生4名、2班…中学生4名、3班…高校生年代3名、4班…大学生・社会人年代4名、5班…社会人年代3名） 【アンケート】 - 開催日時：令和6年12月10日（火）～12月22日（日） - 回答件数：96件



アンケート回答者の属性

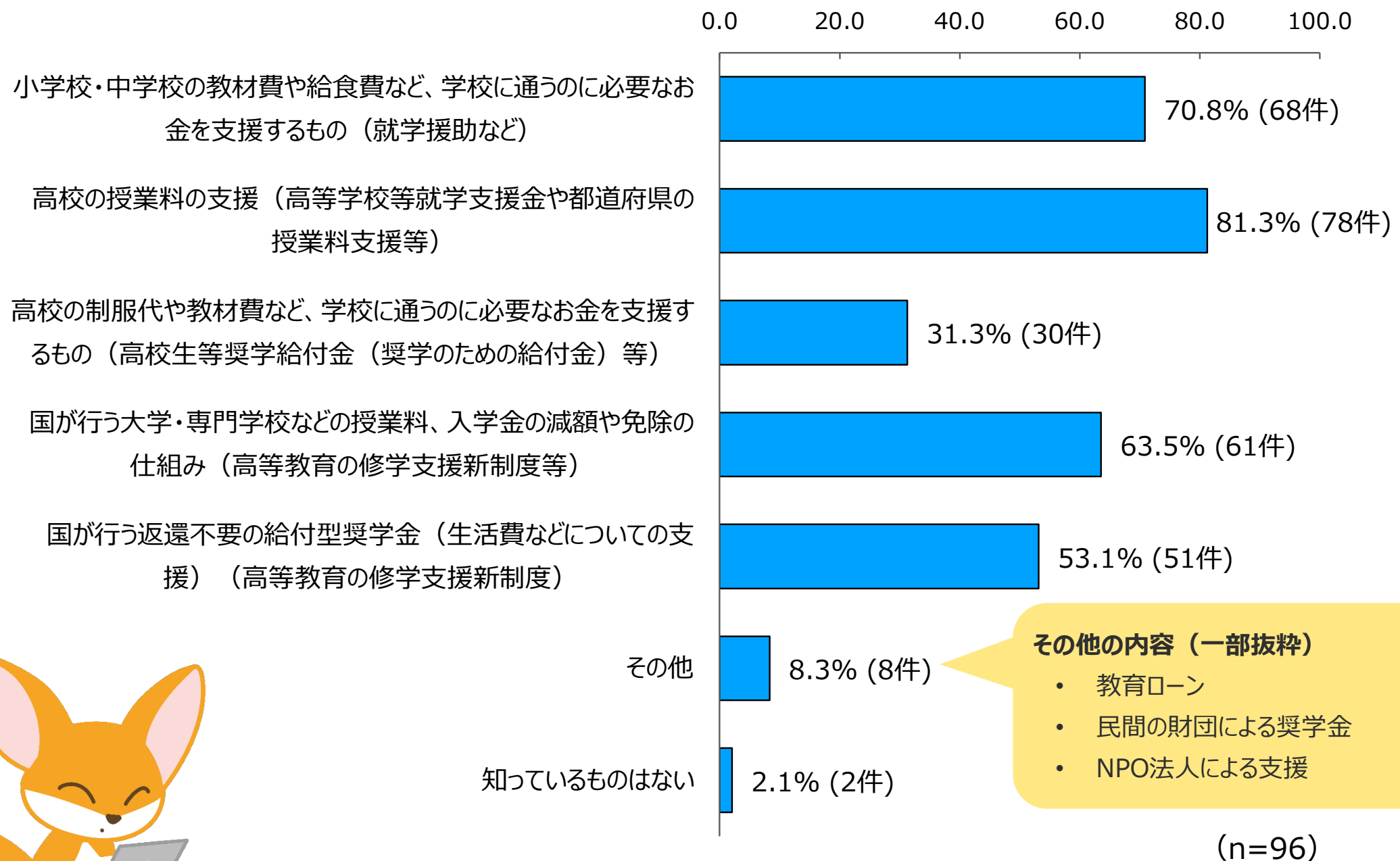


1. 教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法

教育にかかるお金の支援のうち、聞いたことがあるものや知っているものをすべて選択してください。
(複数回答)

アンケート

- ・「高校の授業料の支援」(81.3%) が最も多く、次に「小学校・中学校の教材費や給食費など、学校に通うのに必要なお金を支援するもの」(70.8%) が続きました。



その他の内容 (一部抜粋)

- ・ 教育ローン
- ・ 民間の財団による奨学金
- ・ NPO法人による支援

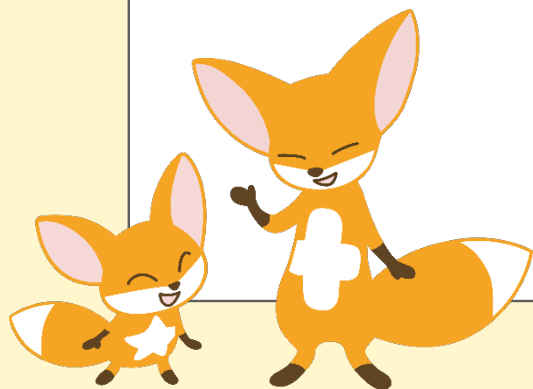
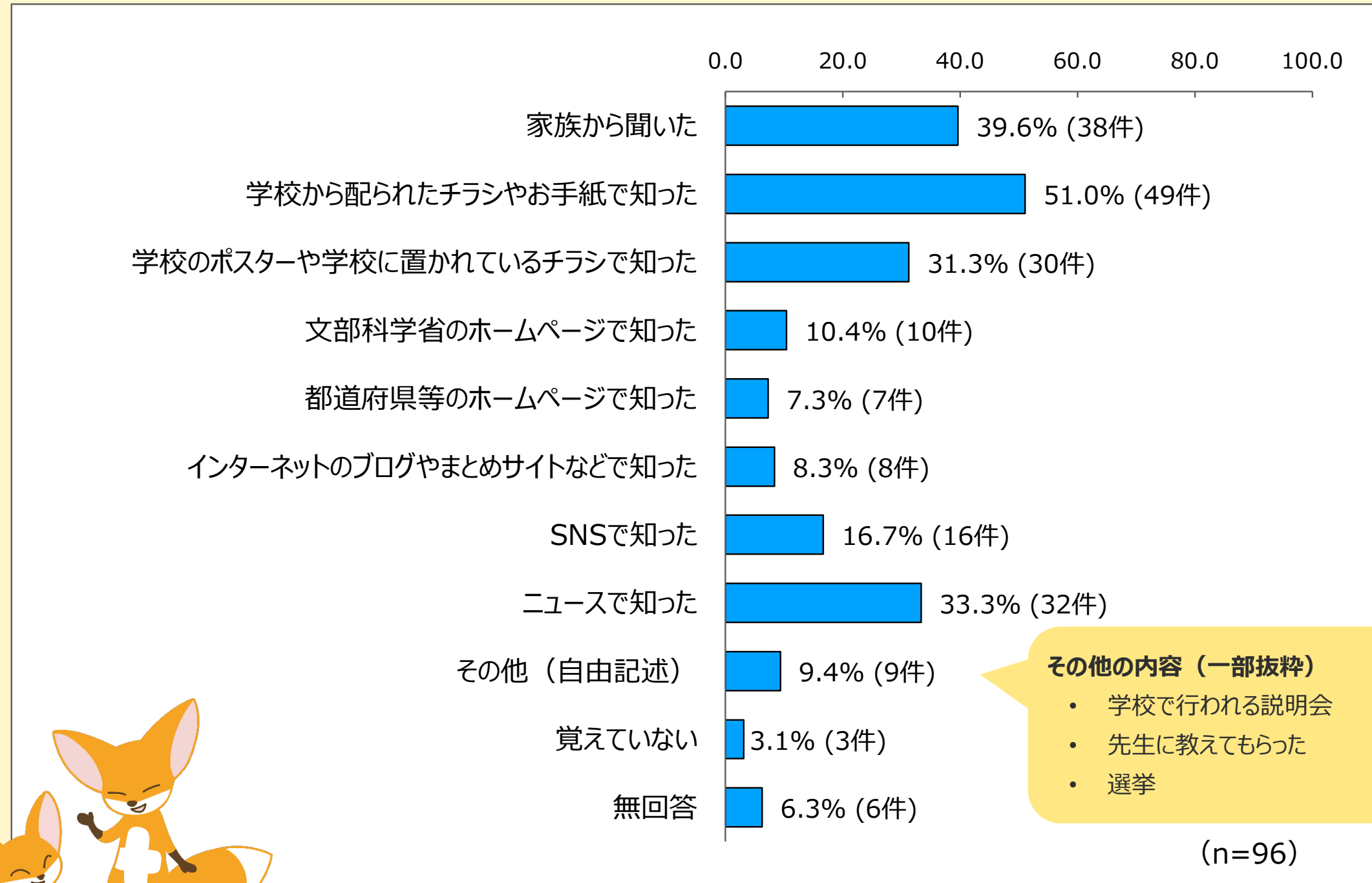


1. 教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法

前の質問で「聞いたことがある・知っている」と回答した支援について、どこで知りましたか。（複数回答）

アンケート

- 「学校から配られたチラシやお手紙で知った」（51.0%）が最も多く、次に「家族から聞いた」（39.6%）が続きました。



1. 教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法

事前説明資料を使って説明した支援のうち、みなさんがこれまでを振り返って、聞いたことがあるものや知っていたものはありますか？また、その支援について何を通じて知りましたか？

オンライン

中学生への支援

- 中学校の場合は、修学旅行や給食の補助金はあった。（高校生年代）



高校生年代への支援

【高等学校等就学支援金制度】

- 学校のパンフレットに載っていた。（高校生年代）
- 自分の通っている学校には学校、地域、家庭を繋ぐ連絡システムのアプリがあり、年度初めに保護者と生徒向けに発信されている。（高校生年代）

【都道府県の支援制度】

- 高校進学について話す三者面談で、現在住んでいる都道府県の私立高校の授業料無償化についての資料を学校の先生から渡された。授業料無償化については、三者面談の前からニュースでも報道されていたため少し知っていた。（中学生）

大学生年代への支援

- 日本学生支援機構の奨学金は高校1年生の頃、壁にポスターが貼ってあったのを見て知った。（大学生・社会人年代）
- 今利用している日本学生支援機構の奨学金は、高校生の頃、先生に早く申し込むように勧められて知った。そのとき、給付奨学金を受けるためには評定平均や家庭の経済状況などの条件を満たす必要があるので、勉強を頑張るように伝えられた。（大学生・社会人年代）

1. 教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法

12ページのチラシ（案）に載っているような支援（小学校～大学卒業までの支援）があることを、どのような機会に知りたいですか。（複数回答）

- 「進路選択に関する説明のときに全員に配られる」（77.1%）が最も多く、次に「入学式で配られる」（66.7%）、「毎年進級したときに配られる」（64.6%）が続きました。

回答の理由（一部抜粋）

【「進路選択に関する説明のときに全員に配られる」と回答した方】

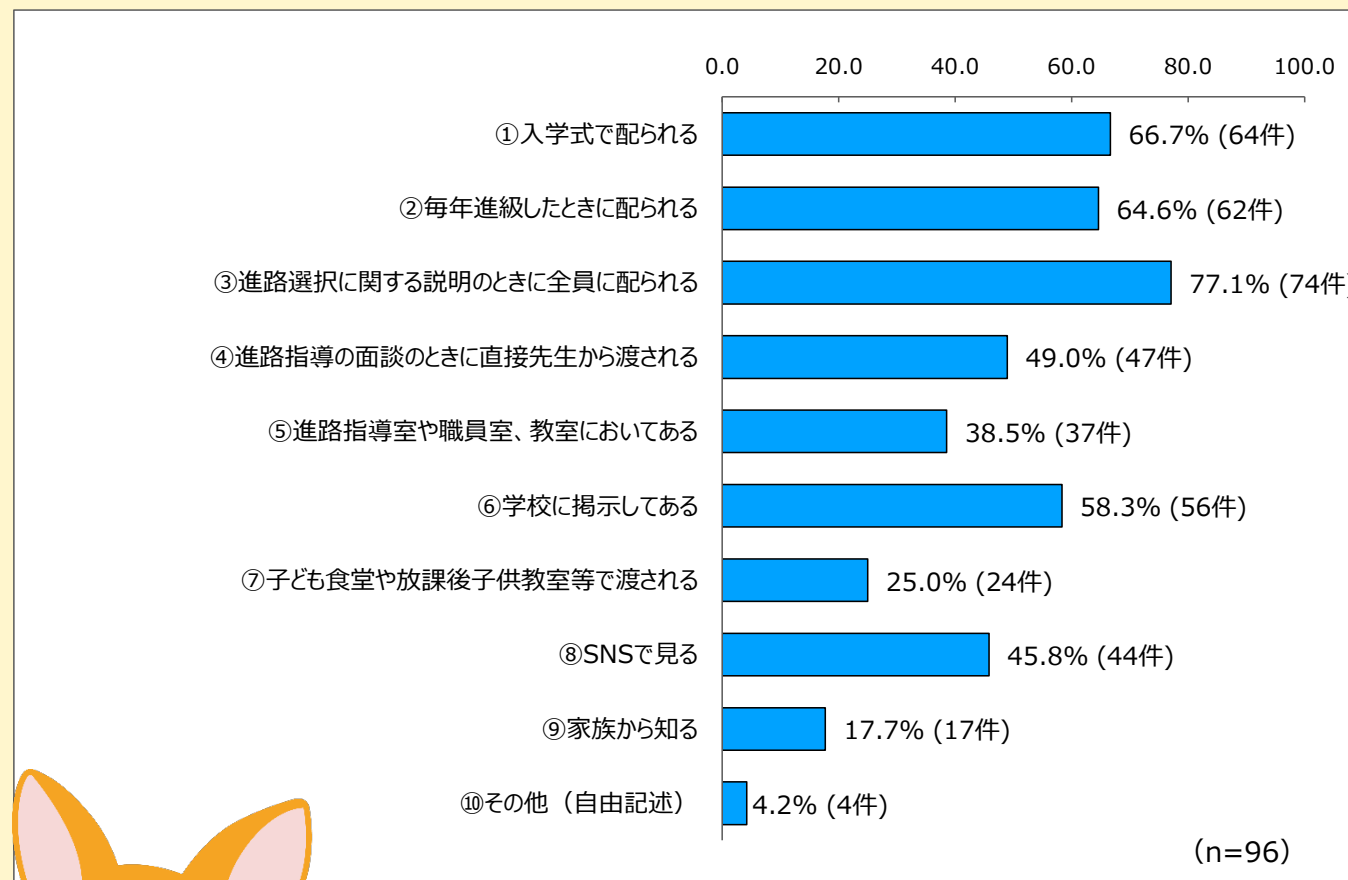
- 進路選択の時がお金のことを一番考える気がするから。（高校生年代）
- 進路を決める時にお金の問題は必ず絡むので、そのタイミングで保護者と進路について話し合う材料になると思う。（中学生）

【「入学式で配られる」と回答した方】

- 入学式では、いつもよりも保護者は手紙を確認する気がするから。（年代不明）

【「毎年進級したときに配られる」と回答した方】

- 毎年言われたほうが覚えていられるから。（大学生・社会人年代）
- 一年で家計が変わり、制度が利用できるようになる人は多いと思うので、一年に一度は配られると嬉しい（中学生）
- 入学式やポスター掲示では古い情報のままになってしまう恐れがあるから。（大学生・社会人年代）



1. 教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法

高校の授業料や、制服代・教材費などへの支援について、どのくらいの時期に支援があることを知っておきたい（もしくは知っておきたかった）と思いますか。または、自分の保護者の人に知っておいてほしいと思いますか。

アンケート

- ・「中学校 1、2 年生の頃」（42.7%）が最も多く、次に「中学校 3 年生の頃」（31.3%）が続きました。

回答の理由（一部抜粋）

【「小学校入学前」と回答した方】

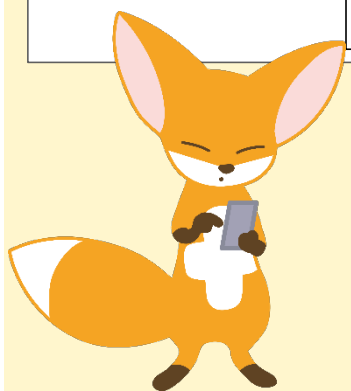
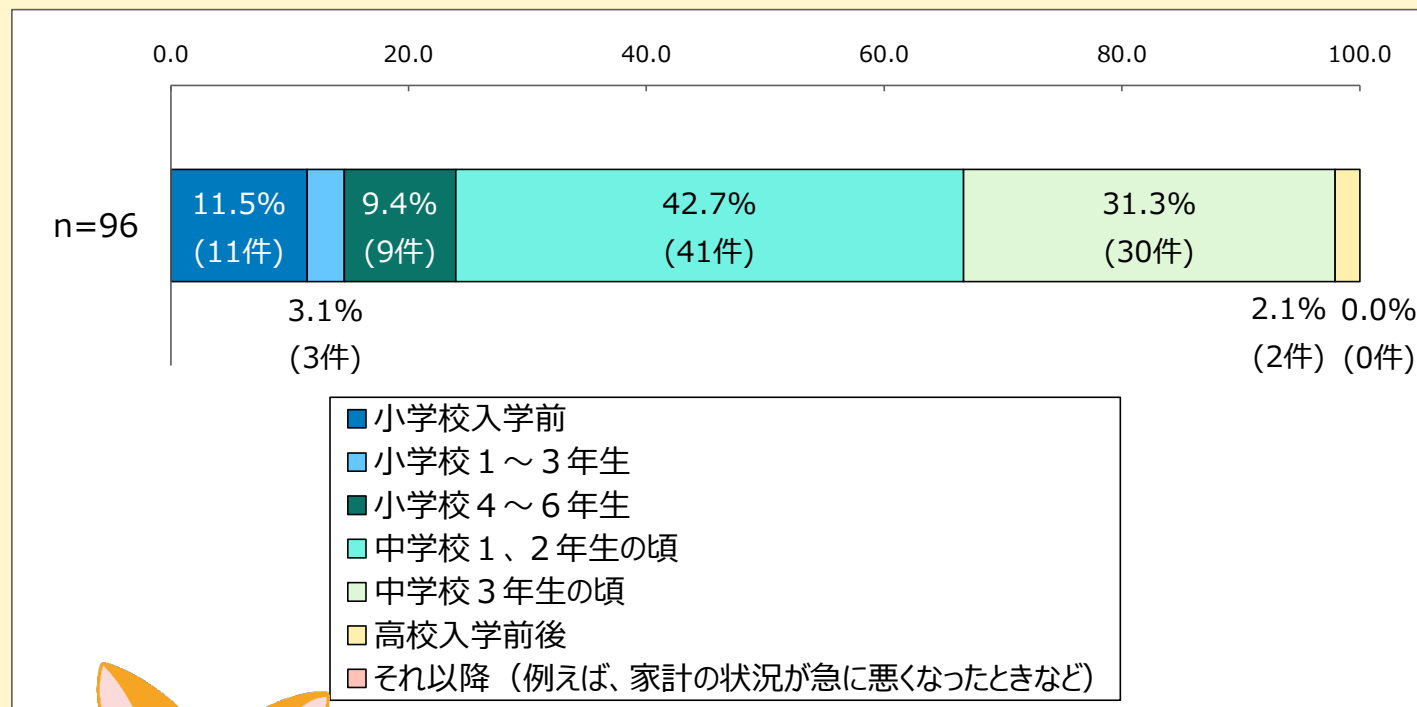
- ・ 保護者は事前に小さい頃から対策を考えないとお金はすぐに用意できないので、できるだけ早めのほうがいい。（中学生）

【「中学校 1、2 年の頃」と回答した方】

- ・ 中学3年生になると、成績や試験のことに集中したいため。（大学生・社会人年代）
- ・ 中学生3年生になってから知っても、進路選択をかえるのは難しいと思うから。（大学生・社会人年代）
- ・ 漠然と高校を考え始める中学1、2年時に知っていれば、進路を考えやすい。（大学生・社会人年代）

【「中学校 3 年生の頃」と回答した方】

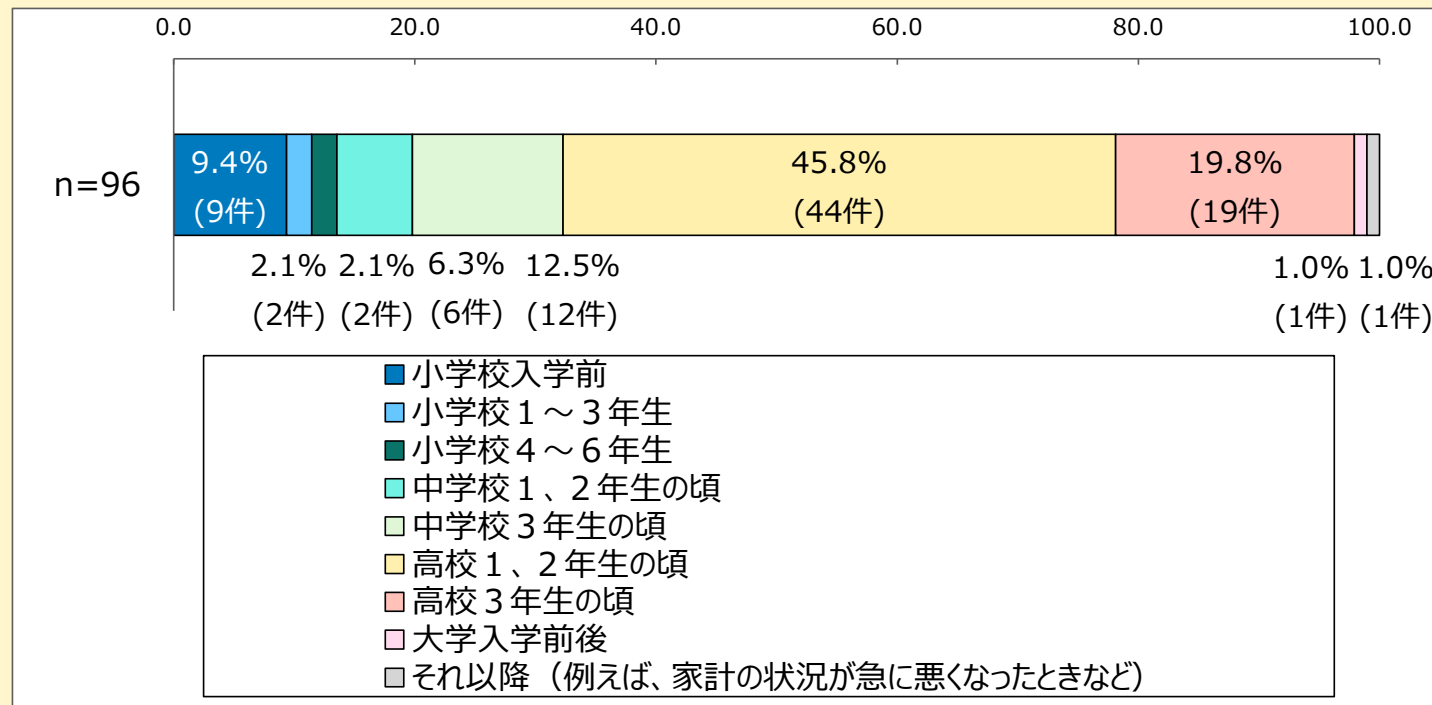
- ・ 高校受験など、進路に向けて具体的に考える時期だから。（大学生・社会人年代）
- ・ 進路を意識した時期に支援があると知ると、ある程度家計の心配をせずに進路を決定できるから。（高校生年代）



1. 教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法

大学・専門学校などの授業料、入学金、生活費 などへの支援について、どのくらいの時期に支援があることを知っておきたい（もしくは知っておきたかった）と思いますか。または、自分の保護者の人に知っておいてほしいと思いますか。

- ・「高校1、2年生の頃」（45.8%）が最も多く、次に「高校3年生の頃」（19.8%）が続きました。



回答の理由（一部抜粋）

【「中学校3年生の頃」と回答した方】

- ・ 高校卒業後の進路も見据えて高校進学を考えることがあるから。（大学生・社会人年代）

【「高校1、2年生の頃」と回答した方】

- ・ 大学について考え始めるのが高1,2だから。（高校生年代）
- ・ 大学進学が目前に迫るよりも前に、将来への不安をなるべく軽減させた方がよいから。（大学生・社会人年代）
- ・ 家計の関係で大学・専門学校に進学するか、就職するか迷っている人が、この時期に支援制度の存在を知れば、進学に前向きになるかもしれないから。（中学生）

【「高校3年生の頃」と回答した方】

- ・ 進路選択の時期にあたると思うから。（大学生・社会人年代）
- ・ 進学が目前にならないと興味を持たないと思うから。（大学生・社会人年代）



1. 教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法

これから、保護者の方や、中学生～大学生のみなさんに支援のことを知ってもらうためには、どのような方法・タイミングでお知らせするのがよいと思いますか？（1/2）

オンライン

お知らせする方法

【中学生～大学生向け】

- ショッピングモールなど幅広くわかりやすいところや、学校などで周知をするのが良いと思う。（高校生年代）
- 勉強を頑張っている人がいそうな場所（図書館や塾）に奨学金の案内を置いたり、掲示したりすると良いと思った。（大学生・社会人年代）
- 学校に行っていない16-18歳の同年代の内、中卒で高校に進学していない人は、若者の支援センターに集まる。支援機関に周知資料を置くと良い。（高校生年代）
- 自分で調べることもできるように、ひとつのサイトに情報がまとまっていると分かりやすいと思う。奨学金制度以外の、私立高校の特待生制度や、一定の要件でもらえる学習支援金も助かる制度だと思うので、それらの情報も含めて網羅されたサイトがあると良いと思う。（中学生）

【保護者向け】

- 学校が保護者を集める機会（保護者会など）で周知して欲しい。（大学生・社会人年代）
- 連絡網を伝って情報が回ってくる場合もあるため、連絡網を再構築してはどうか。（高校生年代）
- 保護者と生徒の両方に情報発信するアプリがある。奨学金がもらえるタイミングで、支援が必要だと思われる可能性のある家庭に直接メールや文書で周知すれば、生徒が周知のプリントを捨ててしまう可能性は減らせるのではないかと。（高校生年代）

【その他】

- バナー広告やXの広告という形での周知は、対象を絞って実施し、大学進学を諦める人が出ることを防げると良い。（高校生年代）
- SNSを使う人が多いと思うので、国が管理するSNSアカウントで年齢に応じた支援を知ることができるようにすると良いと思う。（大学生・社会人年代）

1. 教育にかかるお金の支援について知ってもらうための方法

これから、保護者の方や、中学生～大学生のみなさんに支援のことを知ってもらうためには、どのような方法・タイミングでお知らせするのがよいと思いますか？（2/2）

オンライン

お知らせするタイミング

【入学時】

- ・ 高校や大学受験に向けて勉強していた頃は、奨学金のことを考える余裕がなかったので、入学のタイミングで知らせてくれたのは良かった。（大学生・社会人年代）

【進路選択の前年度（中学生2年や高校生2年のとき）】

- ・ 高校進学直前の進路相談のときだと「今言うの？」となると思うので中学2年生くらいのときが良いと思う。（中学生）
- ・ 大学進学をあきらめないために、高校2年生の12月には大学進学の支援制度について知っておきたいと思う。（高校生年代）

【進路説明会など】

- ・ 進路説明のときに先生たちから教えてもらう機会があると良いと思う。どういう条件があると奨学金をもらえるのか、どういう制度なのかなど、細かい説明があると良いと思う。（中学生）

【申請の〆切まで十分な時間が取れる時期】

- ・ 用紙が煩雑であるため、申請締め切りの2、3か月前に周知すると良い。（高校生年代）
- ・ 支援制度への申込については保護者とのやり取りが必要であるが、時間の都合をつけるのが難しく、周知から締切が1か月だと足りない。余裕をもって周知してほしい。（高校生年代）

【複数回知らせる】

- ・ 紙で、学期が始まるごとにお知らせしたほうがいい。（中学生）
- ・ 学級が上がるごととか、進路選択の時とか、何回もやったほうがいい。入学したときだけだと覚えていないと思う。（中学生）

【その他】

- ・ 余裕を持って、支援を受ける前年度の1月・2月までに申請のお知らせをくれるとありがたい。（高校生年代）
- ・ このような支援があるというのはできるだけ早めに知らせた方がいい。支援が受けられないと思っていたことでそもそも行く学校をあきらめてしまったら意味がない。なるべく早めに知ることで目指せる学校の幅を増やすことが大事だと思う。（中学生）

2. チラシ（案）を良くするための方法

文部科学省では、小学校～大学卒業までの支援を、1枚でわかるようにしたチラシを作ろうと考えています。
このチラシの案について、いけんひろば（アンケート、オンライン）でみなさんから意見をもらいました。

オモテ面（どのような支援があるか一覧できる役割）

小学校 から 大学 まで
教育にかかる **お金** がもらえます！

支援を受けるには、**申請が必要**です！忘れずに手続きしてください。
くわしい情報は、裏面のQRコードから見るができます。

● 授業料、入学金、生活費



- ① 高等教育の修学支援新制度
② 日本学生支援機構貸与型奨学金 ※返す必要があります

● 高校の授業料



- ① 高等学校等就学支援金
② 〇〇県の授業料の支援

● 高校の制服や教材



- ③ 高校生等奨学給付金

● 文房具や給食など



- ① 就学援助制度

● 〇〇費



- ② 〇〇の無償化

ウラ面（支援のくわしい内容を伝える役割）

大学・専門学校など

① 授業料・入学金・生活費などの支援（高等教育の修学支援新制度）

対象：年収約380万円未満世帯の学生、
多子世帯または私立理工農系に通う年収約600万円未満世帯の学生
※（R7～）多子世帯の学生については所得制限なく授業料等の減額・免除を実施
支援額：最大年間約160万円の支援を実施
・給付型奨学金：最大年間約90万円（私立大学に自宅外から通う場合）
・授業料の減額・免除：最大年間70万円（私立大学に通う場合）
※学校種などによって支給額が異なります。
問合せ先：在籍する学校



② 授業料・入学金・生活費などの支援（日本学生支援機構 貸与型奨学金）

※返す必要があります。
◆無利子奨学金
対象：年収約800万円未満世帯の学生
金額：月20,000円～64,000円 ※学校種等によって貸与額が異なります。
◆有利子奨学金
対象：年収約1,250万円未満世帯の学生
金額：月20,000円～120,000円 ※学校種等によって貸与額が異なります。
問合せ先：日本学生支援機構（0570-666-301）



高校

① 高校の授業料の支援（高等学校等就学支援金制度）

対象：年収約910万円未満世帯の生徒
国公立：118,800円 私立：118,800円～396,000円 など
問合せ先：学校



② 〇〇県の授業料の支援（事業名）

対象：…
支給額：… ※「…」はいずれも各自治体にて記入
問合せ先：…



③ 高校の制服代や教材費の支援（高校生等奨学給付金）

対象：生活保護世帯・年収約270万円未満（住民税所得割非課税）世帯
国公立：32,300円～143,700円 私立：52,100円～152,000円
問合せ先：学校またはお住まいの都道府県



小学校・中学校

① 文房具や給食費などの支援（就学援助制度）

対象：生活保護世帯、住民税非課税世帯など
問合せ先：お住まいの市区町村教育委員会
※金額は各市区町村にお問い合わせください。



② 〇〇の支援（〇〇の無償化）

対象：… ※「…」はいずれも各自治体にて記入
支給額：…
問合せ先：お住まいの市区町村教育委員会

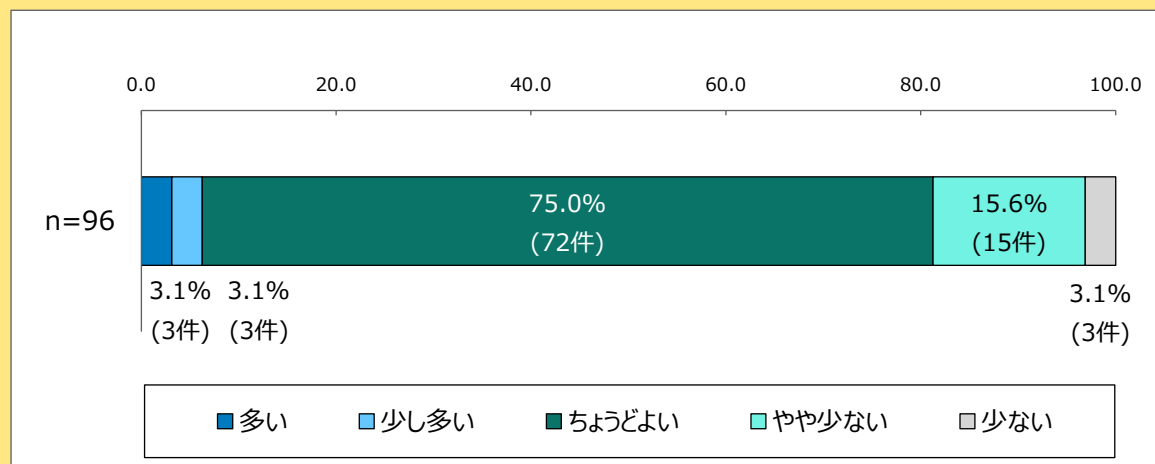


2. チラシ（案）を良くするための方法

チラシ（案）のオモテ面についての意見を教えてください。

アンケート

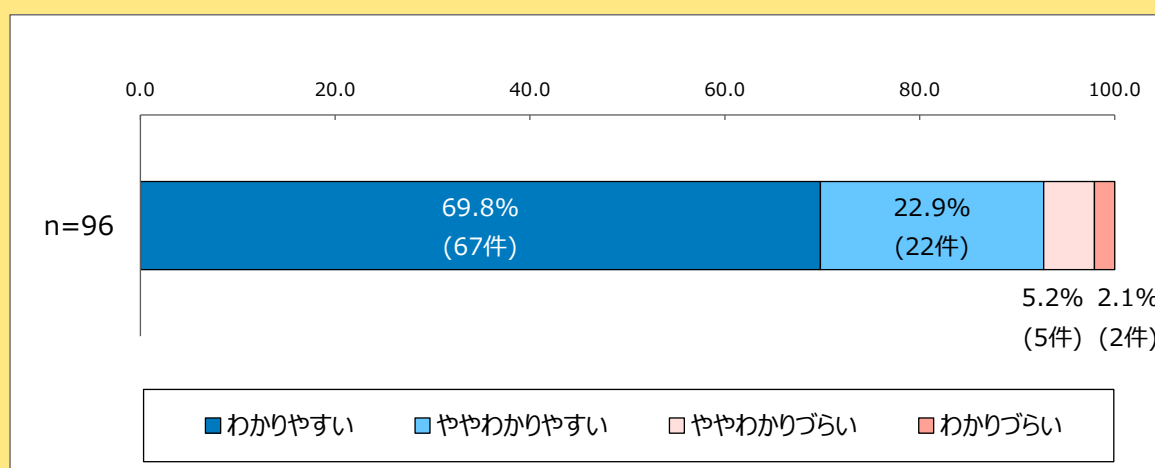
文字の量



「もっとこうしたほうが良い」と思う点（一部抜粋）

- 制度名よりも、「年収〇〇円以下なら受けられる」とか「〇〇%の人が利用している」といった事を端的に表示した方がよい。（大学生・社会人年代）
- 漢字の文字量が多すぎると固い印象を持ち、内容が入ってきづらい印象。助詞を挟んで柔らかい表現にした方がわかりやすいと思う。（大学生・社会人年代）
- もう少し詳しく書かないと、知っている人はそもそも見ないし、そうでない人には抽象的すぎて理解できない。（大学生・社会人年代）

言葉づかい



「もっとこうしたほうが良い」と思う点（一部抜粋）

- 聞きなれない制度や支援名に抵抗感がある。簡単な説明文を付け加えてほしい。（年代不明）
- 小さい子どもや漢字が苦手な方でも読みやすいようにふりがなをふったほうが良いと思う。（大学生・社会人年代）
- 「忘れずに手続きしてください。」は少し表現が固いと思うため、「忘れずに申し込みましょう！」など語りかけるような表現にしたほうが良いと思った。（大学生・社会人年代）
- 『お金がもらえる』は少し下品な言い回しに感じる。『〇〇(国や自治体など)が払います』や『自己負担が減ります』などでもいいと思う。（大学生・社会人年代）

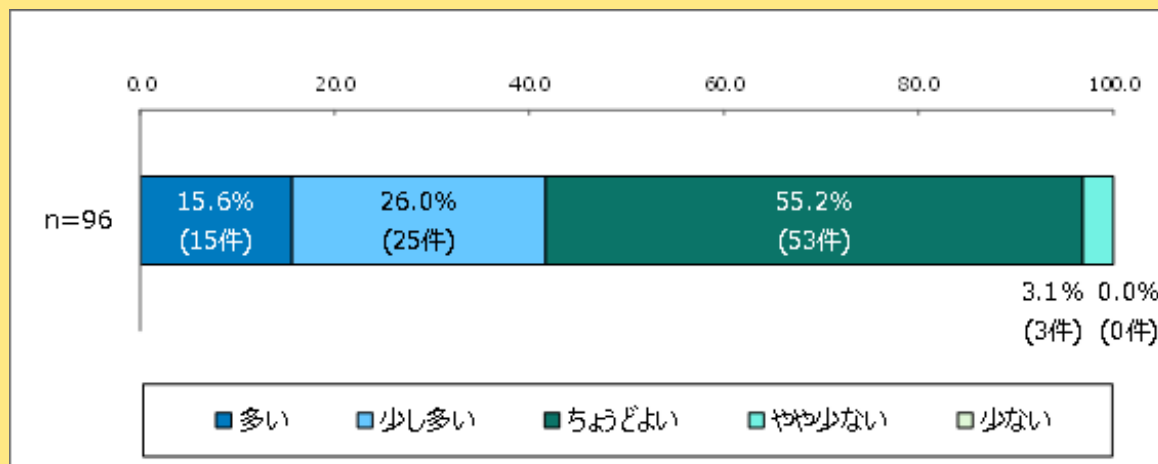


2. チラシ（案）を良くするための方法

チラシ（案）のウラ面についての意見を教えてください。

アンケート

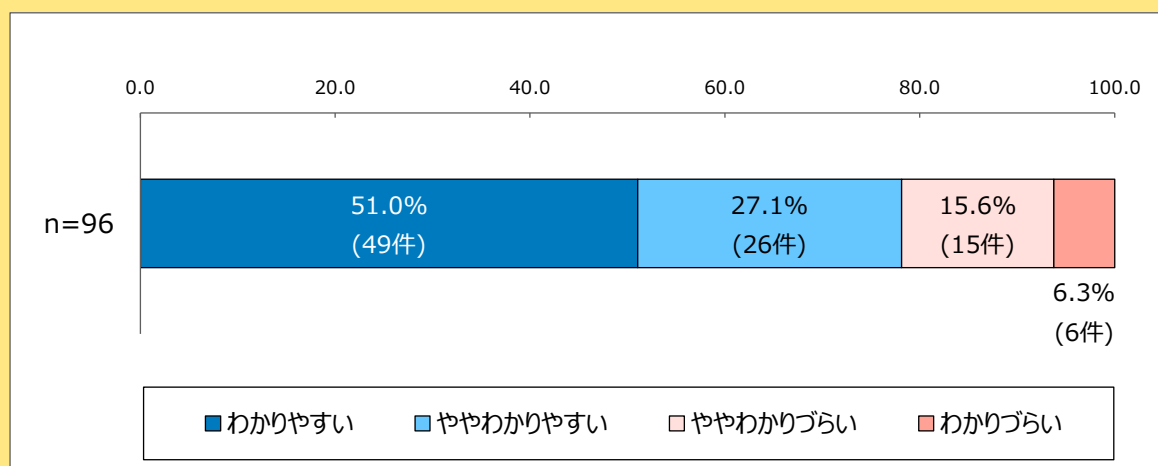
文字の量



「もっとこうしたほうが良い」と思う点（一部抜粋）

- 黒い文字だけのため、文量が多く見える。文量を減らせない場合は、赤文字や青文字で対象世帯や重要事項を強調する工夫が必要。（大学生・社会人年代）
- 本当に詳しく知りたい人はQRコードからみると思うので、もう少し簡潔にしたほうが良い。（高校生年代）
- 文字の量が多いと感じたが、伝えたい情報の量を考えると文字の量を減らすのも難しいだろうと思った。対象や金額といった項目ごとに適切なインデントをつけて、情報を見やすくするのがいいのではないかな。（大学生・社会人年代）

言葉づかい



「もっとこうしたほうが良い」と思う点（一部抜粋）

- 意味が分からない言葉がある。（中学生）
- 配られたこどもや、外国人の当事者が読めるよう、ふりがなや『やさしい日本語』を書いたほうが良い。（大学生・社会人年代）
- 「多子世帯」は誤解を生みやすい表現だと思うので、注釈を入れるべきだと思う。（高校生年代）
- 近年は親世代も和暦の使用機会は少なく一度脳内で西暦に変換してから考えるため、西暦表記または併記が望ましい。（大学生・社会人年代）

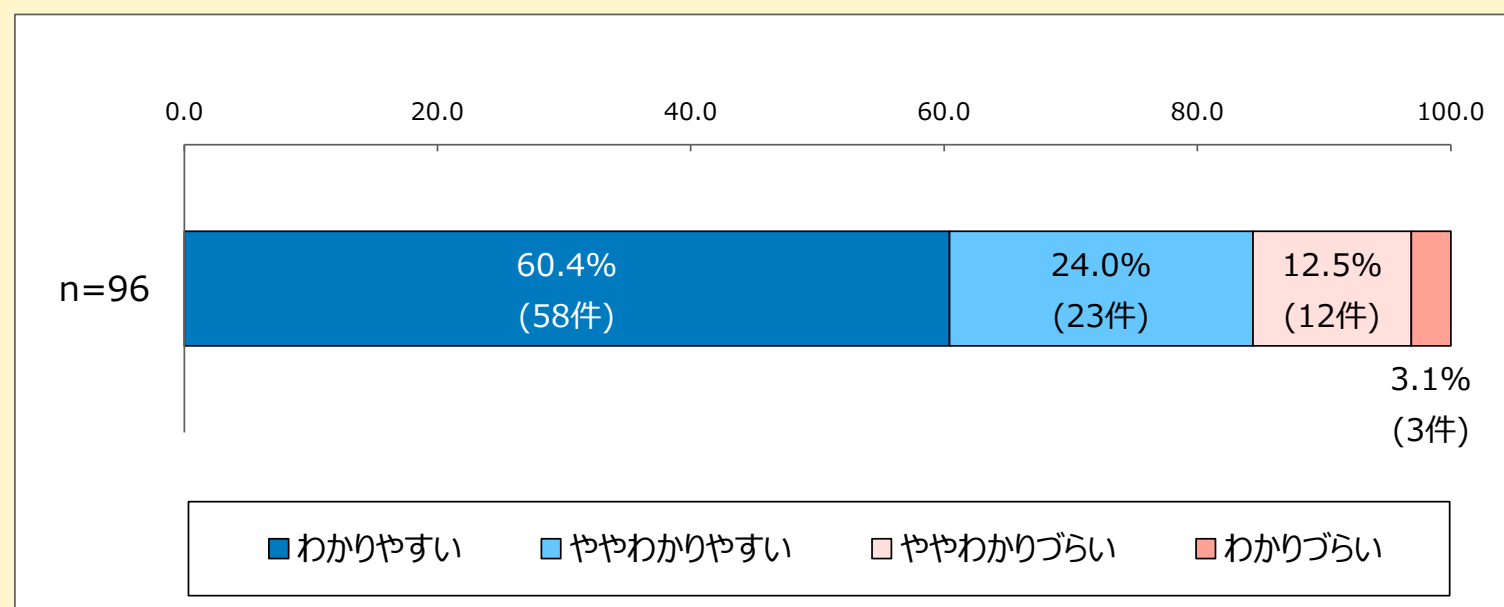


2. チラシ（案）を良くするための方法

チラシ（案）全体のレイアウトはどうか。

アンケート

- ・「わかりやすい」（60.4%）が最も多く、次に「ややわかりやすい」（24.0%）が続きました。



レイアウトについて、もっとこうしたほうが良い、ここは良かったという点があれば理由とともに教えてください。

アンケート

重要な箇所を強調する

- ・ オモテ面1番上の「お金がもらえる」という部分はもっと大きくした方がよいと思う。忙しい人でも一目で印象に残してもらえる。（中学生）
- ・ 対象となる年収や給付額を大きく、目立たせると良いと考える。実感として、対象者に該当していても「自分には関係ない」と思い込んでいる人も多い。（大学生・社会人年代）

表の形式にまとめる

- ・ 裏面について、箇条書きで記述するのではなく、簡単な表にしてまとめた方が、文字も多く見えず、また整理されるため見やすくなると思う。（高校生年代）

親しみやすい雰囲気にする

- ・ 少し堅苦しい雰囲気があるため、子どもでも興味を持てるような可愛らしい感じでも良い気がする。（大学生・社会人年代）
- ・ ウラ面もカラーの文字や、二次元コード周辺などにこどもや勉強している様子の図があると、より統一感が出ると思う。（大学生・社会人年代）

その他

- ・ 余白がまだあるので、文字やイラストを大きくした方が見やすいと思う。（大学生・社会人年代）
- ・ 上から下に読んでいくと思うので、最初に小学校で始まり最後に大学等の方が自然に感じた。（大学生・社会人年代）

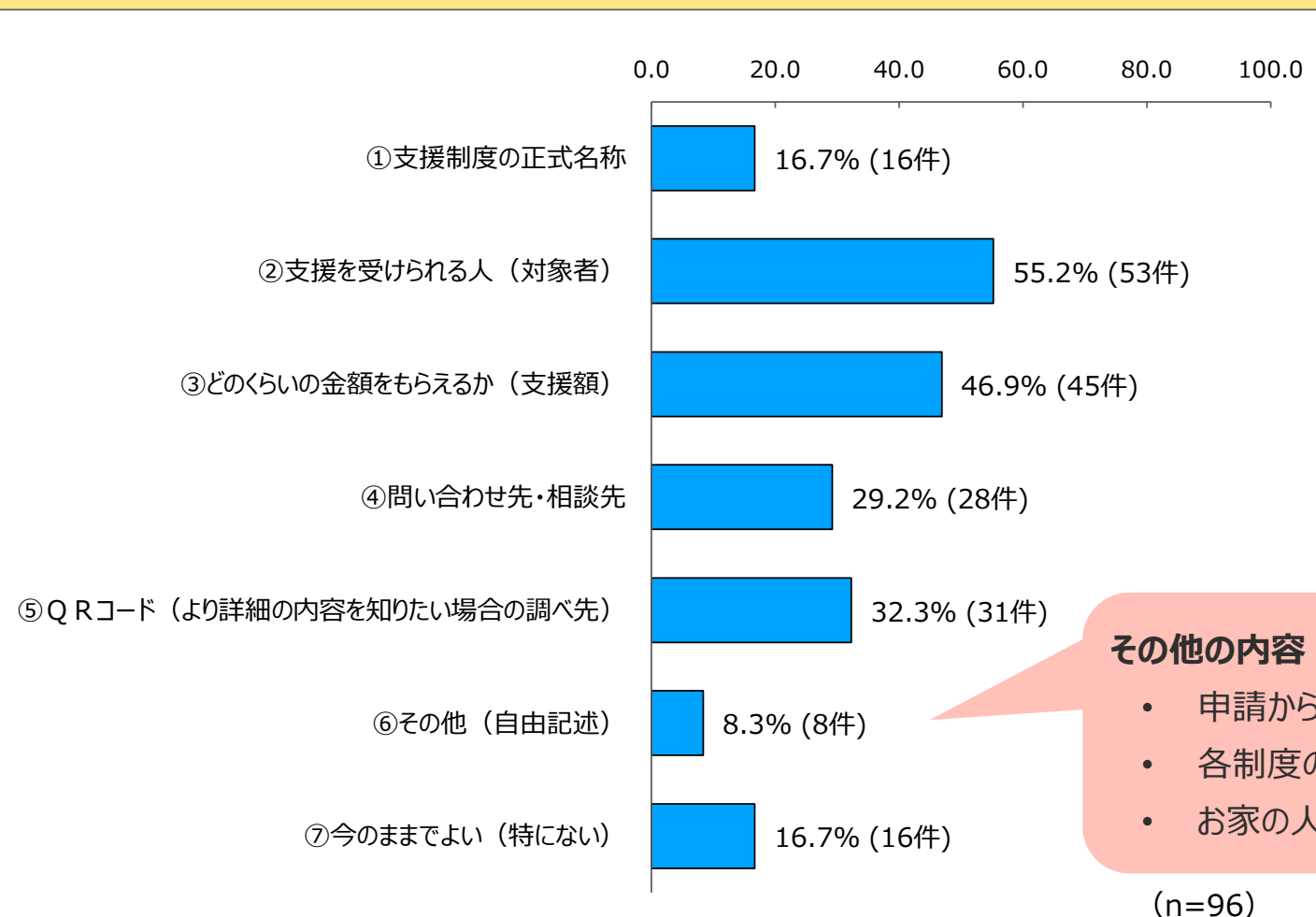
2. チラシ（案）を良くするための方法

チラシ（案）のオモテ面についての意見を教えてください。

アンケート

載せたほうが良いと思うもの

- ・「支援を受けられる人」（55.2%）が最も多く、次に「どのくらいの金額をもらえるか（支援額）」（46.9%）が続きました。



その他の内容（一部抜粋）

- ・ 申請から交付までにかかる日数
- ・ 各制度の申請期限
- ・ お家の人と読んでねと書く

その理由

- ・（②について）対象者を記載した方が必要としている人に興味をもってもらえる可能性が高まると思う。（大学生・社会人年代）
- ・（③について）支援額が思ったよりも多いと感じてくれたら、魅力に思い裏面をしっかり確認すると思うから。（大学生・社会人年代）
- ・（⑤について）わざわざウラ面をみるのが面倒な人に向けてQRコードはすぐ読み取れるところになったほうが良いかと思う。（大学生・社会人年代）
- ・（⑦について）これ以上情報を増やすと、文字の量も増えてチラシを手に取りづらくなるだろうと思うため。（大学生・社会人年代）

2. チラシ（案）を良くするための方法

チラシ（案）に載っていない情報で、知りたいと思うものがあれば教えてください。

アンケート

関連する支援制度の情報

- 対象に外れてしまった者の支援制度（年代不明）
- 虐待を受けている、親が進学に協力的でない場合の支援、相談先（年代不明）
- 自治体独自の支援や、民間企業、財団が実施している支援がまとまっているサイト（大学生・社会人年代）
- 一部の私立高校では学業が優秀な生徒に対して入学金や施設利用料を減免・免除する制度がある事（中学生）

具体的な金額が想像しやすくなるような情報

- 助成により授業料が負担された額の実例（大学生・社会人年代）
- 授業料や教材費など平均どのくらいお金がかかるのか（高校生年代）
- 公立学校における全国平均等から算出した、支援金により、何の費用がどのくらい安くなるかという情報（大学生・社会人年代）

制度が身近に感じられるような情報

- 助成を利用したことがある人の声（大学生・社会人年代）
- どんな人がどのくらい借りているか、奨学金を借りている生徒の割合（高校生年代）

その他

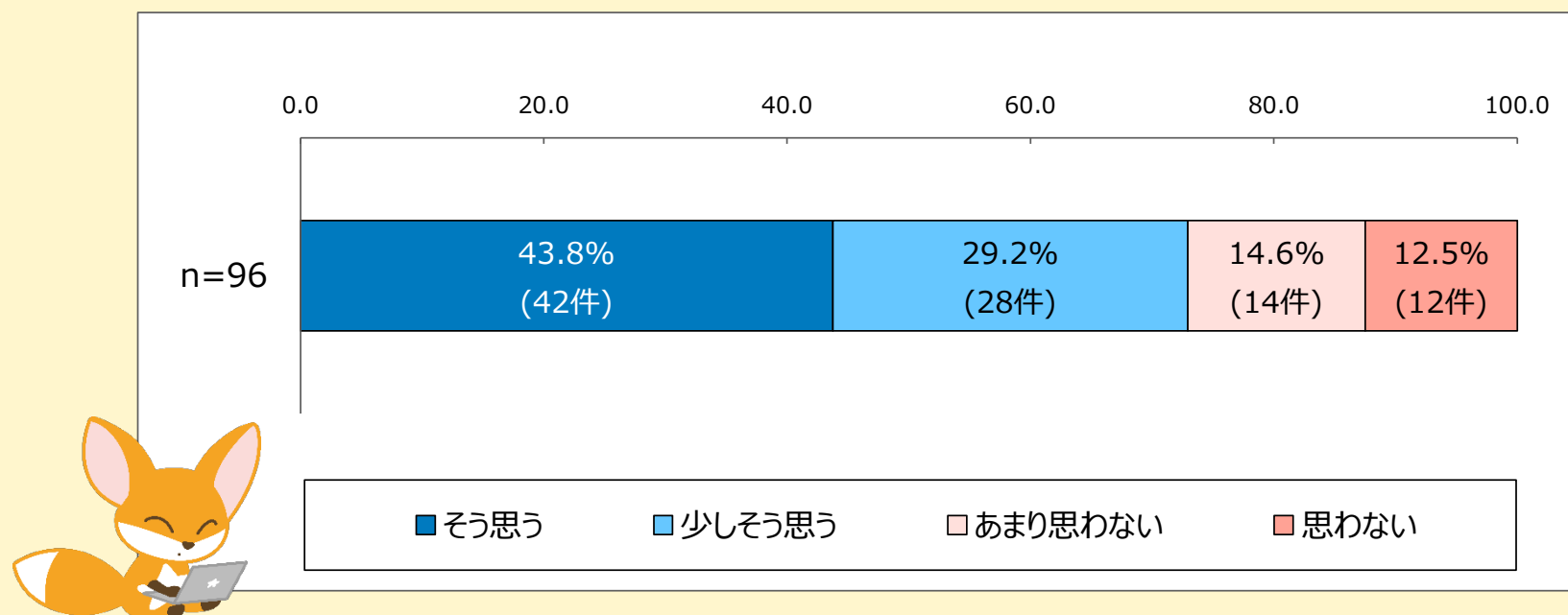
- 成績や、出席率のため減額されることがあること（大学生・社会人年代）
- 奨学金は返さないといけないというイメージがとても強いので、給付金の奨学金は、給付金を強調するような装飾をした方が良い。（大学生・社会人年代）

2. チラシ（案）を良くするための方法

このチラシ（案）を見て、教育を受けるのに必要なお金に対する支援があることを家族に伝えようと思いますか。

アンケート

- ・「**そう思う**」（43.8%）が最も多く、次に「**少しそう思う**」（29.2%）が続きました。



家族に伝えようと思う/思わない理由を教えてください。

アンケート

そう思う

- ・ 必要な情報がまんべんなく記載されているため。（大学生・社会人年代）
- ・ 支援があることで家族への負担を減らすことができるから。（高校生年代）
- ・ 今と昔とでは考え方も制度も違うため、両親が知らないことも多そうだから。（中学生）

あまり思わない

- ・ 受けられる人と受けられない人がわかりにくいから。受けられないかもしれないのに、申請しても意味がないと感じるから（大学生・社会人年代）
- ・ 学校などで配られても親が取り合うか分からないから。（大学生・社会人年代）

少しそう思う

- ・ 親が大体知っていると思ったから。（中学生）
- ・ 親の年収を知らない、聞けない子が多い中で対象に入っているかわからない申請書類を自分から学生課などからもらいに行くには少しハードルが高いため。（大学生・社会人年代）

思わない

- ・ これだけだと情報が少ない気がした。（中学生）
- ・ 貸与型の奨学金を貰う気がないから。（中学生）
- ・ わたしの世帯年収だと受けられる支援がひとつもないから。（大学生・社会人年代）

2. チラシ（案）を良くするための方法

チラシ（案）をどのように変えたらわかりやすくなるか、教えてください。（1/2）

オンライン

レイアウト面

- 裏面は、数字を赤色などの強調できる色にすることで制度の対象がぱっと分かるようになると思う。（中学生）
- 「裏面の二次元コード」とあるが、紙を裏返す手間が面倒なため、表面にも二次元コードを載せてほしい。（高校生年代）
- 「高校の授業料」や「高校の制服や教材」の「高校の」は、高校の欄にある内容なので、わざわざ書く必要はないと思う。また、イラストはもう少し大きくした方が分かりやすい。（大学生・社会人年代）
- 裏面については、子育てに忙しい小中学生の保護者は長い文章を読まないと思う。表面に記載した方が分かりやすい（高校生年代）

内容面

- チラシの配り方にもよるが、街でもらったら「お金がもらえます」は詐欺に見える。発行元を示したほうが良い。（中学生）
- このチラシには申込期限が書いていない。チラシを見たにもかかわらず申込が間に合わないという結果になってしまうと悲しいと思う。（大学生・社会人年代）
- 奨学金制度を調べてもらうためには、「自分も対象に当てはまっているかもしれない」という当事者意識が必要だと思う。奨学金をもらえる基準がしっかり書かれていれば「私も当てはまっているかも」と思って読んでもらえるかもしれない（中学生）
- 「最大〇〇円もらえます」と金額を書いた方が、チラシとしてインパクトがある。たくさんのお金がもらえるとわかるチラシだと、児童・生徒はプリントを捨てない。（高校生年代）
- 自分は支援制度自体を知らなかったが、制度の正式名称が分かると自分で検索できるのでありがたい。（大学生・社会人）
- 奨学金の制度名を言われてもピンとこない。制度が示す内容にもう少し触れたほうがいいのではないかな。例えば、①について「対象内であれば、授業料や入学金や生活費が受けられます」と文章で補足するのがいいのではないかな。（中学生）
- 「自分がどの支援を受けることができるのか結局分からない」という印象を受けた。年収が階段のようなイラストで示されており、「ここまでの人は～の支援が受けられる」ということが視覚的に分かりやすくなっているといいと思う（大学生・社会人年代）
- タイトルは「お金がもらえる」となっている一方で、「大学生・専門学校など」の「②日本学生支援機構貸与型奨学金」はお金を借りるものであることが気になった。また、給付型奨学金についても紹介したほうが良いと思う。（大学生・社会人年代）
- 制度に関する書きぶりは分かりやすく、見やすいと思う。しかし、このチラシに書かれているものしか知ることができない点が課題だと感じる。国以外（企業や自治体、財団など）が創っている奨学金制度もあると思う。国以外の情報について調べるのはこどもや保護者にとっては大変だが、全国の奨学金を一括で調べることができるサイトがあったりもするので「その他の奨学金はこちら」と書いてリンクを載せても良いと思う。（大学生・社会人年代）

2. チラシ（案）を良くするための方法

チラシ（案）をどのように変えたらわかりやすくなるか、教えてください。（2/2）

オンライン

生活が苦しい方等へ届けるための工夫

【周知方法の工夫】

- もし、このチラシが教室の後ろに掲示されたとしても、周りの目があるので見づらいと思う。チラシを見ていると周りから「あの人はお金に関して困っているのかな」と思われる可能性があることを踏まえると、チラシは一人一枚配った方がいい。（大学生・社会人年代）
- 保護者宛てのお知らせをメールなどで配信している学校も多いと思う。経済状況や家庭の事情によってはメールを確認することができないこともあるかもしれないため、小学生の場合は、学校から親に直接チラシを配布したほうが早く届くのではないかと感じた。（大学生・社会人年代）
- 日本語を読むのが苦手な人に理解してもらうためには、他の言語のバージョンを作るのも一案だと思う。（中学生）
- 紙媒体や電子媒体だけでなく、色々な媒体を使って、ハイブリット式で確実に情報を周知する必要がある。（高校生年代）

【チラシのデザインの工夫】

- パンフレットのどこかに「おうちでも家族の人と読んでみよう」と書くと良いのではないか。（中学生）
- チラシ裏面について、ちょっと文字が多いと感じる。必要なことだとはわかるが、文字が多いのももう少し少なくしてほしい。（中学生）
- 裏面には具体的な金額が書かれているが、表面にも大雑把な金額や、「最大どのくらいもらえる」など書いたほうが良い。（中学生）

その他

- QA形式にすれば文字量も減って見やすくなると思う。（中学生）
- 小学校から大学までの全体像が把握できるチラシと、各世代の情報に特化したチラシの両方があると良いと思う。（大学生・社会人年代）
- 国以外（企業や自治体、財団など）が創っている奨学金制度もあるとよいと思う。全国の奨学金を一括で調べることができるサイトがあったりもするので「その他の奨学金はこちら」と書いてリンクを載せても良いと思う（大学生・社会人年代）

2. チラシ（案）を良くするための方法

オンライン

学校でこのチラシをもらったら支援を受けようと思いますか？

思う

- 見ると思う。もう少しパンフレット型のようになっていたら、中身が気になるので、自分は見ると思う。（中学生）

思わない

- まずこのプリントが配られたときに読むか読まないかで迷う。新聞で見出しが大事なように、「あなたも支援の対象かも」と、もう少し関心を惹き付けるような文言だといえると思う。（中学生）
- 奨学金だと親が授業料を負担してくれるので、こどもからはお金が見えづらく、支援を受けている実感がわきにくい。そのため、このチラシを見たからと言っても、なかなか読もうとは思わない。（中学生）

学校でこのチラシをもらったら保護者にチラシを渡そうと思いますか？

思う

- 授業料や制服以外にも、塾の授業料や、電車通学するなら交通費がかかり、できるだけ支援を受けたいのでこの紙を渡したい（中学生）

思わない

- PDFの共有では、保護者と生徒の話し合いにつながらないと思う（中学生）

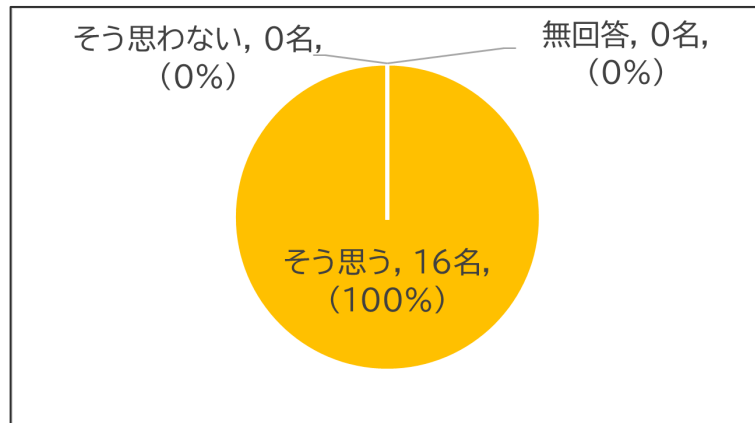


参加者アンケート（一部を抜粋して掲載）

オンライン

こどもまんが
こども家庭庁

「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？



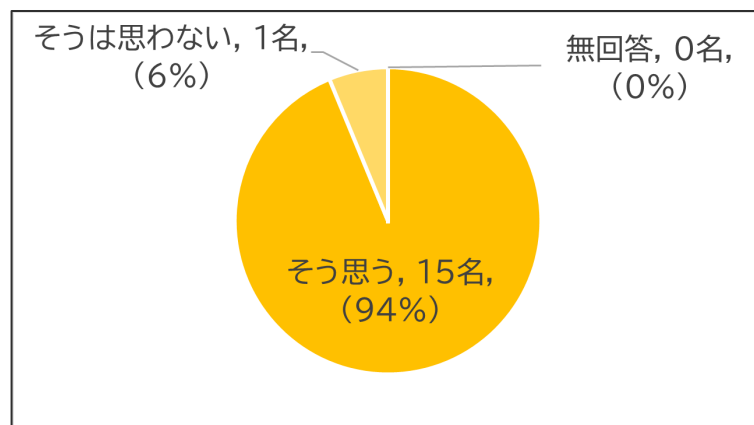
「そう思う」の理由（自由回答）

今まで自分自身も奨学金や教育支援金制度をみつけられず苦労した過去があったため、そのことの共有と、こうあってほしいという当事者からの意見を表明できてよかったです。

自分と違う県の子世代の人の意見を聞くことができたから。

学生に対する支援が多数あることを知ることができたから。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと（自由回答）

日本語が第一言語でない人は、今回の支援のチラシをGoogle翻訳したら内容を理解できそうなのか聞きたい。

結局どの支援が受けられるか自分で判断するしかない、というところがハードルが高いと思うので、必要事項を記入(イメージはふるさと納税の額計算サイト)すれば受給可能な支援が列挙されるような診断サイトとそのサイトへの導線をチラシとして広報するような仕組みがほしいと思った。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

様々な価値観を持った方たちと話し合いができて楽しかったです！対面オンラインともにまた参加していきたいです。

もう少し教育に関わる支援金について深く話し合いができる機会があったら良いと感じた。この議題であれば、もっと多くの当事者たち（中学生～大学生）の対面、オンライン式で汲み取っても良いのではと思った。